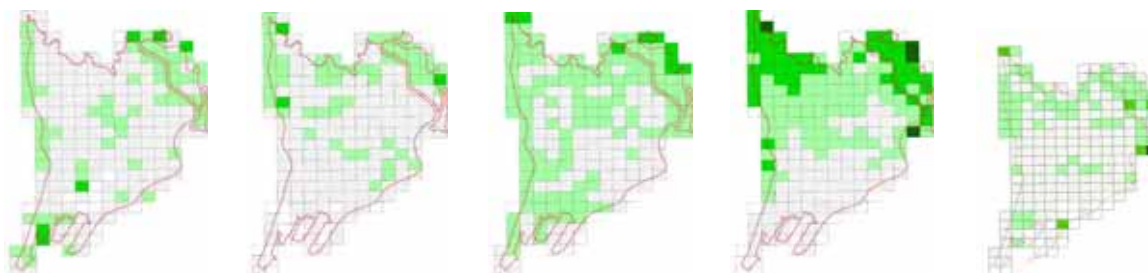
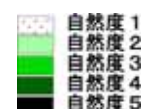


10 あまがさきの身近な自然

凡 例

(1)身近な生きものから見たあまがさきの自然調査(平成19年度調査結果)

総合評価(ススキ、カタツムリ、アシナガバチの3種を指標生物とする)



50年度

63年度

9年度

15年度

19年度

いままでの変化の程度を把握するため、それぞれの生物について、自然度評価2以上のメッシュ数、占有率(%)をみると、表-181のとおりである。自然度評価2以上の地域というのは、それぞれの生物が少なくとも存在するとみとめられる地域である。

表 - 181 自然度評価2以上のメッシュ数及び占有率

生物の種類	メッシュ数					占有率(%)				
	50年度	63年度	9年度	15年度	19年度	50年度	63年度	9年度	15年度	19年度
ススキ	109	119	67	57	68	61.9	53.6	31.6	26.5	33.2
スギナ	-	69	26	30	58	-	31.1	12.2	14.0	28.3
オオオナモミ	-	106	57	48	51	-	47.7	26.9	22.3	24.9
タンポポ	-	-	-	-	191	-	-	-	-	93.2
カタツムリ	106	91	17	8	14	60.2	41.0	8.0	3.7	6.8
トンボ	-	213	202	210	198	-	95.9	95.3	97.7	96.6
バッタ	167	200	177	168	196	94.9	90.1	83.5	78.1	95.6
ミノムシ	153	-	-	8	-	86.9	-	-	3.7	-
アブラゼミ	-	(197)	(198)	200	189	-	(88.7)	(93.4)	93.0	92.2
クマゼミ	-	-	-	201	193	-	-	-	93.5	94.1
テントウムシ	-	-	-	-	155	-	-	-	-	75.6
アオスジアゲ	-	149	134	135	101	-	67.1	63.2	62.8	49.3
アシナガバチ	135	161	167	182	161	76.7	72.5	78.7	84.7	78.5
カマキリ	-	-	-	-	72	-	-	-	-	35.1
メダカ	95	52	17	17	30	5.4	23.4	8.0	7.9	14.6
ザリガニ	94	49	11	14	21	53.4	22.1	5.2	6.5	10.2
カエル	125	65	6	75	81	71.0	29.3	2.8	34.9	39.5
トカゲ	166	129	32	43	46	94.3	58.1	15.1	20.0	22.4
ヘビ	85	35	0	5	3	18.2	15.3	0.0	2.3	1.5
ツバメ	132	175	93	99	76	75.0	78.8	43.9	46.0	37.1
コサギ	-	-	-	-	17	-	-	-	-	8.3
イタチ	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1.5
ドジョウ	66	4	1	1	-	37.5	1.8	0.4	0.5	-
コウモリ	145	193	116	143	156	82.3	86.9	54.7	66.5	76.1
カラス	126	-	-	204	-	71.6	-	-	97.9	-
調査メッシュ	176	222	212	215	205	-	-	-	-	-

備考1 カエルは50年度から9年度までトノサマガエルとして調査。

2 アブラゼミ、クマゼミは63年度と9年度はセミとして調査。

(2) 魚 (平成11年度水生生物相調査結果)

